

日中科学技術者の 交流と留学生支援

Japan-China Science and Technology
Exchange Association

2019年10月18日

日中科学技術交流協会業務執行理事
永崎隆雄

日中科学技術交流協会の概要

- 設立： 1977年12月17日
- 特定非営利活動法人に改組 2006年5月2日
- 一般社団法人に改組 2019年5月27日
- 役員：(2019. 8) 13名
- 会員：(2019. 5) 55名
- 賛助会員： (2019. 5) 2社

日中科学技術交流協会の設立

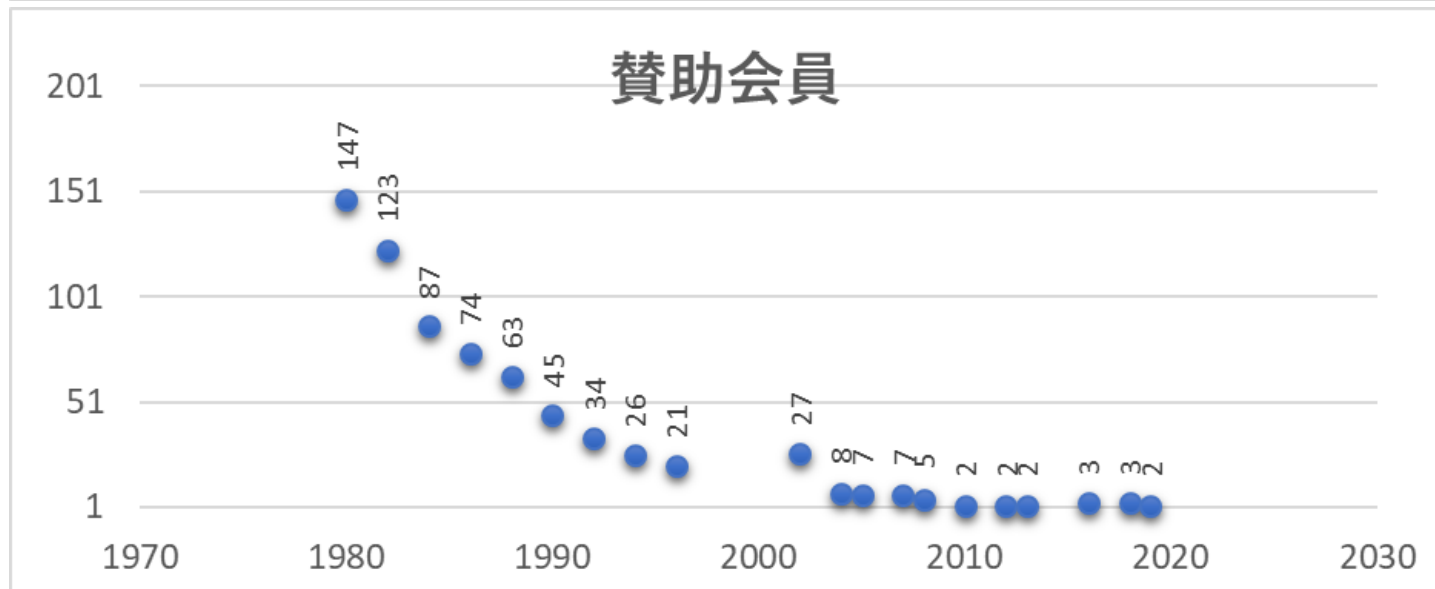
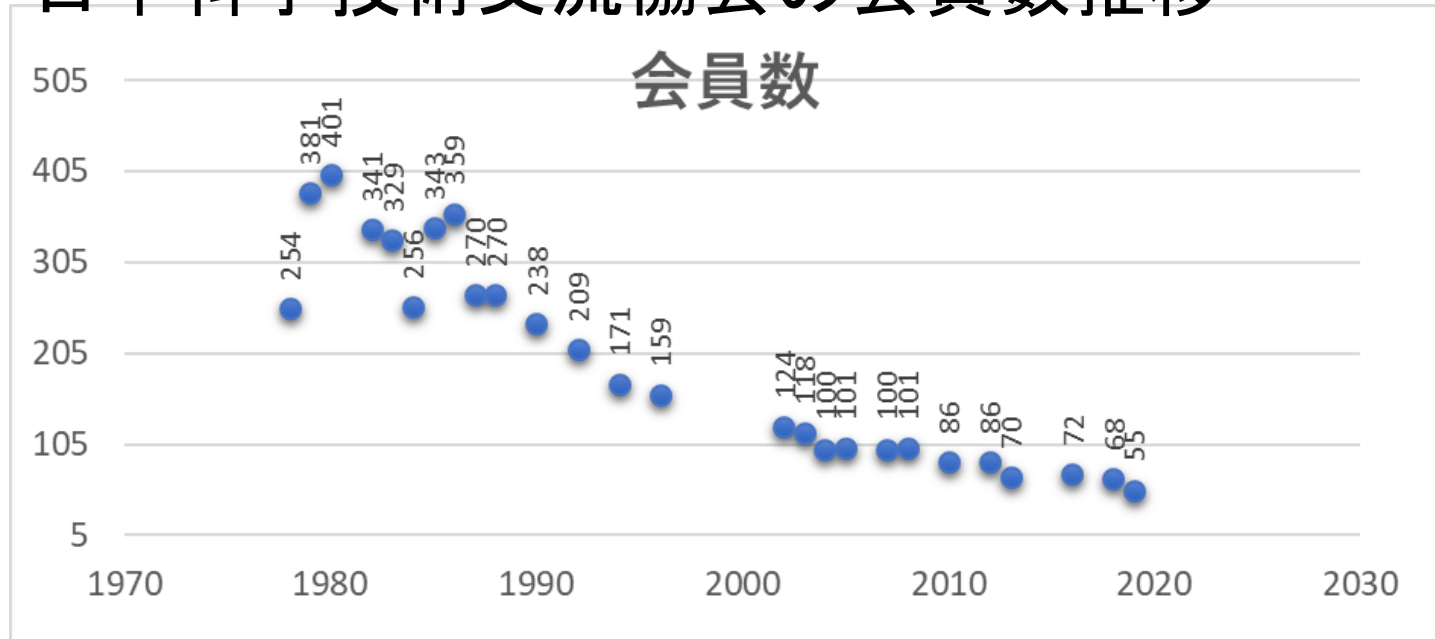
目的

- 日中の科学・技術者の交流を通じて
- 相互理解を増進
- 日中友好親善に資する

事業の概要

1. 日中交流の企画・実施・支援
2. 日中研究会・講演会・報告会等の企画・開催
3. 会報等の広報活動
4. 中国人留学生の優良表彰
5. その他の目的達成事業

日中科学技術交流協会の会員数推移



歴代会長

- 第1代 有山兼孝 1977年12月～1987年3月
- 第2代 橋口隆吉 1987年3月～1996年10月
- 第3代 菅野昌義 1997年1月～2004年1月
- 第4代 有山正孝 2004年4月～

一般社団法人 日中科学技術交流協会 役員

会長	有山正孝(電気通信大学名誉教授・元学長)
副会長	藤崎聡達(東大名誉教授,元南京大学招聘教授 山脇道夫(福井大学特命教授,東大名誉教授)
業務執行理事	紺野大介(ETT理事長、清華大学招聘教授) 永崎隆雄(元JAEA北京事務所所長)
理事	岡田雅年(瀋陽金属研究所名誉教授、元金材研所長) 鈴木基之(東京大学名誉教授、国連大学元副学長) 山岡亜夫 (千葉大学名誉教授) 近藤昭彦 (千葉大学教授) 曾我文宣 (NPO国際総合研究機構副理事長) 中河正勝 (元日立上海工場長、KJSnet 理事長)
監事	益田隆司 (電気通信大学名誉教授・元学長) 伊藤 学 (東京大学名誉教授)
名誉会員	有馬 朗人 (東京大学元学長、元文部科学技術大臣)

協会設立までの経緯

- 1952年 日本学術会議 日中学術交流の早期再開を提言
- 1955年 坂田昌一教授 北京訪問
- 1955年 中国科学院訪日学術視察団(郭沫若団長)
- 1956年 日本学術会議訪中学術視察団(茅誠司団長)
- 1957年 日本学術会議物理学研究連絡委員会・日本物理学会合同訪中団(朝永振一郎団長)
⇒日本ノーベル賞物理学者が多大の貢献
科学は日中の共通言語
- 1964年 北京研討会に62名の科学者参加
- 1966年 北京研討会 66年夏物理学討論会に3名参加
- 1972年 日中国交回復
- 1972年 日本政府派遣学術文化代表団訪中
- 1977年 日中科学技術交流協会設立 組織的対応強化
- 1978年 鄧小平の中国改革開放 科学院 科学の春



学術会議訪中団、
北京空港貴賓室
で中国側指導者
と初対面
1957年5月10日



周恩来総理会見
北京紫光閣
1957年5月13日

協会の設立とその直後の主な活動

- 1977年12月 協会設立
57年訪中団のメンバーが核となり
日中**科学技術交流の着実な発展を**
非政府活動により支えることを目指す
- 1978年 日中平和友好条約締結
- 1978年 中国科学院訪日代表団を招聘
- **1979年 第1回訪中団を派遣**
- 1979年 日中文化交流協定締結
- 1980年 日中科学技術交流協定締結
- 1980年 第2回訪中団を派遣（**奥田東団長**11名）

協会組織改編

- 2006年 NP0法人設立訪中団 北京、上海
- 2019年 一般社団法人に改組

1979 協会第一回訪中団と方毅副総理会見。人民大会堂



1. 科学技術者の交流

I. 橋口会長時代 1987～1996 主催事業

物性物理・材料

1987	筑波	結晶成長と評価研究会
1989	筑波	酸化物高温超伝導材料研究会
1990	東京	異種材料の界面と接合研究会
1993	東京	結晶成長と評価 '93 研究会
1995	筑波	計算機による材料設計研究会
1995	東京	超高圧 研究会

環境

1991	東京	大気汚染（環境研究会－1回）
------	----	----------------

医療 Bio

1992	東京	医用工学研究会
------	----	---------

能源・核能

1994～現在	毎年	先進能源材料・核分裂/核融合 MAESFFE1
---------	----	----------------------------

II. 菅野会長時代 1997～2004 主催事業

環境

1996 習志野 環境科学(環境研討会－2回)

2002～2008 北京 「循環型社会創造」研討会

信息

1997～現在 信号处理研討会

能源

1998 蔵王 石炭C1化学研討会

Bio

1999 東京 蛋白質物理学と水和効果研討会

2002 北京 日本バイオテクノロジー視察訪中団派遣

共催 後援

2001 東京 清華大学創立90周年中日産業協力研討会

電子材料

2003 北京 微電子封装研討会(清華大)

Ⅲ. 有山会長時代 2004～現在 主催事業 1

環境

- 2004 千葉 資源循環型社会(環境研究会－5回)
- 2005 貴陽 第2回日中環境 研究会
- 2006 東京 中国の環境・能源問題と日中協力展望研究会
- 2009 中国水利部研修団18名来日研修会
- 2011 上海・北京 精密加工・水処理技術移転訪中団
- 2014 上海・北京 第2回環境水処理研究会

能源・核能

- 2007 北京 北京能源関係研究所交流団
- 2007 上海・合肥 上海・合肥原子力機関交流団
- 2009 上海・成都・広州 中国原子力メーカ交流団
- 2011 上海・成都・北京 福島原発事故の意見交換訪中団
- 2012 東京・女川 広東省環境庁と核安全防災交流
- 2013 上海・蘭州・北京 第1回日中加速器科学討論会
- 2015 上海 上海応用物理研究所交流

Ⅲ. 有山会長時代 2004～現在 主催事業 2

電子材料

第1～4回日中電子材料研究討会 2010、2011、2013、2014
上海・北京、蘇州の科学院研究所等

科学技術協会・大学

2006 東京 中日科学技術研討会

2009 東京 上海科学技術協会来日交流

2009 東京 広東省科学技術庁来日交流

2009 上海・北京 科学院招待青年訪中団

2009 東京 深圳市科学技術庁 来日交流

2009 香港学生東京大学訪問団

2010 海南 海南島科学技術部訪中団

2010 東京 重慶大学来日交流

Ⅲ. 有山会長時代 2004～現在 共催事業

原子力 核能

1994～2018 MAESFFE－1～14 1年1次

2007 南京・無錫 AEARU Joint Workshop ICASS07

2013 第2回日中大学間核燃料討論会

2017 第4回中日核燃料サイクル

情報 情報

1997～2018 信号処理国際会議ICSP～第14回 2年1次

2012 第3回諸言語の音調国際討論会

環境

2006 北京 Eco-Design研討会(清華大)

2006 寧波 環境材料研討会(科学院)

材料・科学技術

2004 東京 物質材料分子設計研討会

2006 東京 中日科学技術研討会

2018 南寧 第1回金属及び核資源利用化学・先進材料研討会



2006年 科学技术協会



周光召荣誉主席

天津市 東京駅鉄道地下鉄 視察2006年10月



科学技術協会来日 2006年11月 齊 讓 副主席





2007 能源関係研究所交流団

陳竺科学院副院長 後の衛生部長

訪問先

- ①清華大学材料科学と工程研
- ②国家原子能機構
- ③原子能科学研究所
- ④科学院北京過程工程研
- ⑤科学院電工研
- ⑥科学院北京工程熱物理研

2. 日方

- ①原子力安全基盤機構 ②千代田テクノル ③日立製作所
- ④電力中央研究所 ⑤東電環境(株)
- ⑥JAEA ⑦新型炉技術開発 ⑧東京大学
- ⑨エネルギー・情報工学研究会議 ⑩日本原子力研
- ⑪東芝電子管デバイス ⑫東京電力 ⑬日本電機工業会(JEMA)
- ⑭原子燃料工業 ⑮広島大学
- ⑯放射線教育フォーラム ⑰原子力学会シニアネットワーク(日本ニュークリア・フュエル)
- ⑱当協会(電気通信大学) ⑲千葉大学

2007年10月上海・合肥の原子力術機関との交流

合肥先進超伝導トカマク実験装置



訪問先：

- 1) 科学院プラズマ物理研究所
- 2) 科学院中国科学技術大学
- 3) 上海科学院応用物理研究所 加速器
- 4) 同歩輻射光源施設
- 5) 上海科学技術協会、核学会
- 6) 上海核工程研究設計院
- 7) 上海電気核電設備有限公司

日方

- ①京都大学 ②東北大学 ③JAEA
- ④海外電力調査会 ⑤電力原子力室
- ⑥日立製作所 ⑦電力中央研究所 ⑧東芝
- ⑨住友原子力工業 ⑩日本原子力発電 ⑪富士電機 ⑫当協会

2009年4月 香港学生東京大学訪問団 日本の東大留学を目指す若者達



China-Japan Joint Symposium on Electronic Materials

2010年 11月 第一回電子材料研討会@ 北京

日方：①富士Film ②ダイセル ③凸版印刷 ④日立化成 ⑤JSR ⑥日東電工
⑦尾池工業 ⑧ムラカミ ⑨千葉大学 ⑩当協会

交流先：①科学院理化技術研究所 ②Lenovo ③北京大学 ④清華大学 ⑤上海市科学技術協会 ⑦上海市合成樹脂研究所 ⑧上海市印刷工業会 ⑨上海市腐食化学技術学会 ⑩上海交通大学材料与工程学院

2013年第3回電子材料研討会 @北京科学院微電子研



2013年第3回電子材料研訪問

科学院北京微電子研
實驗室

清華大学微電子研
實驗室

科学院上海微系統研

科学院蘇州
ナノテクとバイオニクス研究所

2014年第4回電子材料研討会@東京大学山上会館



王曦 科学院上海微系統与信息技研所長

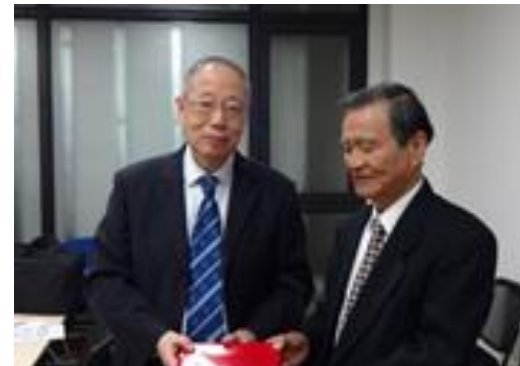




2014年電子材料訪日団 富士Film 訪問



2014年電子材料訪日団 凸版印刷 訪問



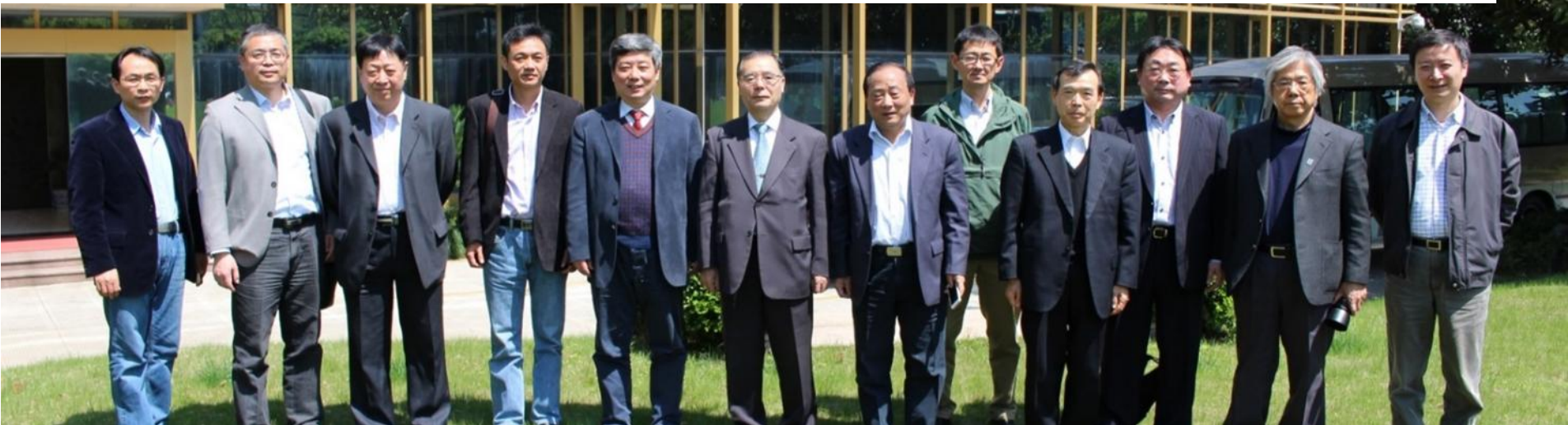
蔣国梁元院長と団長
曾我理事

日方:

①理科学研究所仁科中心 ②東京大学 ③東芝 ④住友重機械工業 ⑤SEN ⑥当協会
訪問先

①科学院上海応用物理学研究所(上海) ②上海腫瘍医院附属陽子重粒子医学中心
③中国科学院近代物理研究所(蘭州) ④中国科学院高能研究所(北京)

2014年4月第一回環境分野水処理研討会 上海浄水場



研討会

- ①上海交通大学環境工程学院研討会
- ②清華大学環境学院研討会 ③科学院生態応用研究センター研討会

訪問先

- ①上海市都市水資源開発(南方 ②上海市国家工程研究中心 ③上海市楊樹浦水工場 ④上海市科学技術協会 ⑤北京市排水集団

参加日本企業

- ①東レ先端材料研究開発(中国)
- ②帝人(中国)
- ③住友精密工業技術(上海)
- ④栗田工業(蘇州)
- ⑤オルガノ(蘇州)水処理
- ⑥チャイナ・ウォーター・リサーチ
- ⑦千葉大学
- ⑦グリーンブルー株式会社
- ⑧当協会

2018年 第14回信号処理国際会議 北京市京瑞温泉国際酒店



2018年)9月第14回先進エネルギー材料と核分裂・核融合技術日中シンポ（仙台）



2. 留学生支援

対象： 中国からの留学生
特に優秀な研究業績を挙げた方々

事業内容：

- ①表彰者の募集
- ②研究の審査
- ③表彰と賞金10万円の授与

表彰実績： 1987年～2019年 受賞者数；146名

賞金： 篤志家のご寄付

担当理事：藤崎博也 副理事長

研究奨励賞名称

1987～2012年は寄付者名

1. 野上茂吉郎記念賞
2. 伏見康治賞
3. 高度自動化賞
4. 天田科学技術賞
5. 有山兼孝賞
6. 環境科学賞
7. 菅野昌義記念賞
8. 向坊隆記念賞
9. 日中科学技術協会賞

2013年以降
日中科学技術協会賞に統一

応募者と受賞者

2002年～2012年(11年間)

	応募者	受賞者
電通大	18	7
農工大	3	2
新潟大	2	1
長岡技	5	2
帝京科	1	0
千葉大	16	9
物材研	13	10
東大	13	7
埼工大	1	1
阪大	1	0
計	74	39

2005年中国人留学生研究奨励賞

3名



伏見先生

3名



2006年12月 中国人留学生研究奨励賞

2007年

4名



2008年

4名



2009年

4名



2010年

4名



4名



2011年12月日 2011年度中国人留学生研究奨励賞授賞式 山上会館

3名



2012年12月21日 2012年度中国人留学生研究奨励賞授賞式 山上会館





2015年12月14日 2015年度中国人留学生研究奨励賞授賞式 於：山上会館



2017年1月11日 2016年度中国人留学生研究奨励賞授賞式 於：山上会館



課題と今後の方針

課題

1. 会員の老齡化
2. 活動の不活発化
3. 会の継続

今後の方針

寧静致遠（路 甬祥科学院院長の言葉）

小さいながらも 継続第一

留学生表彰事業

中国訪日団の受け入れ

他山の石

1. 日中産学官交流機構の廃止

原因：大組織の高経費 トヨタ自動車の脱会

2. コダックの倒産

原因：際限のない合理化で事業消滅

3. 富士フィルム存続 競争勝利

原因：膨大な過去の研究蓄積を再生利用

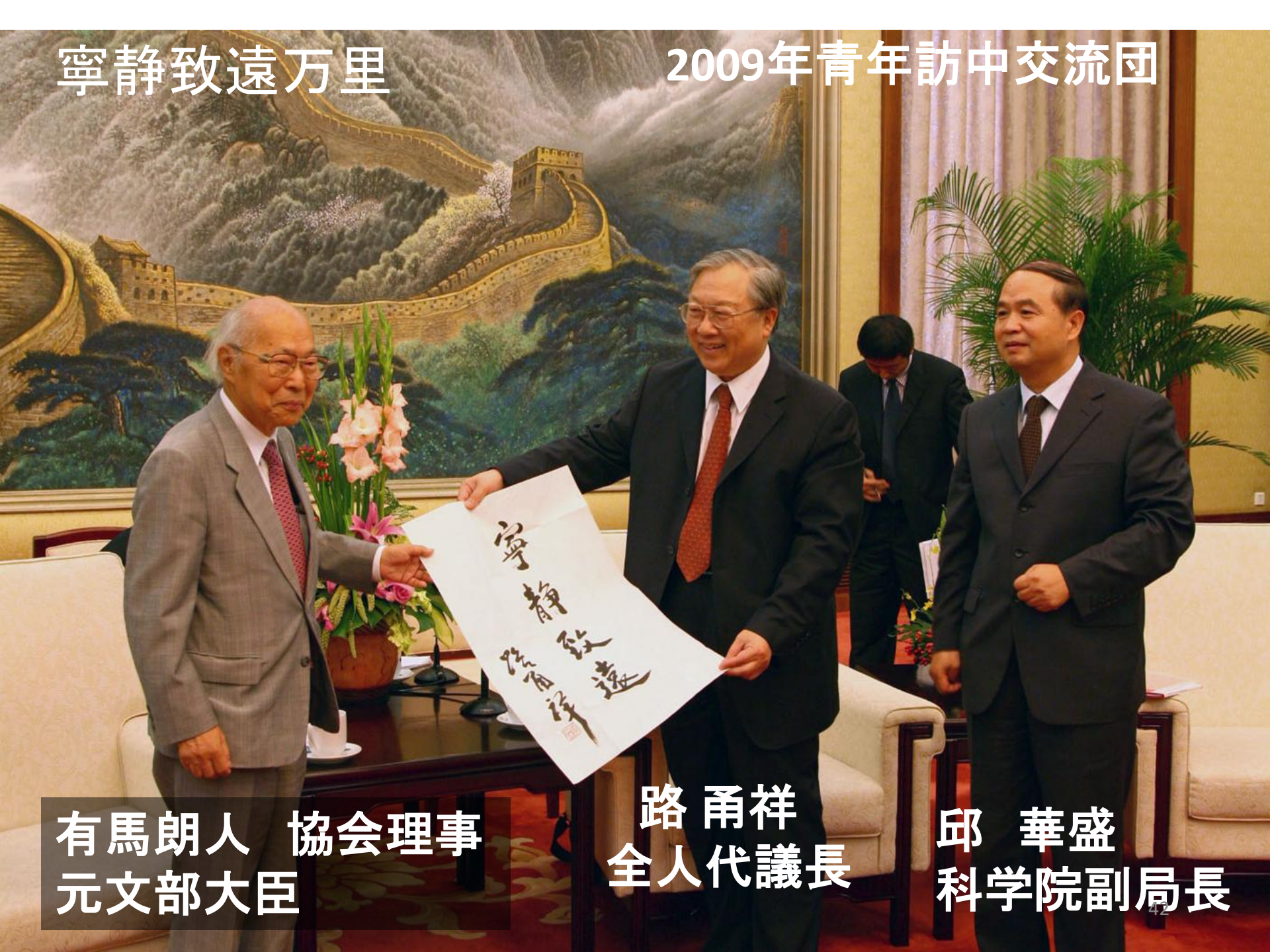
寧靜致遠万里

2009年青年訪中交流團

有馬朗人 協會理事
元文部大臣

路甬祥
全人代議長

邱 華盛
科學院副局長





2009年青年訪中交流団 全人代で議長と会見

当協会は中国の発展に寄与

1977年 日中科学技術交流協会設立 (科学技術協力)

1978年 鄧小平の改革開放

中国科学院 科学の春 (科学技術協力)

貧困からの脱出

⇒国内炭活用で高度成長

過剰生産・低賃金・環境汚染 (環境技術協力)

⇒2015年新常態経済

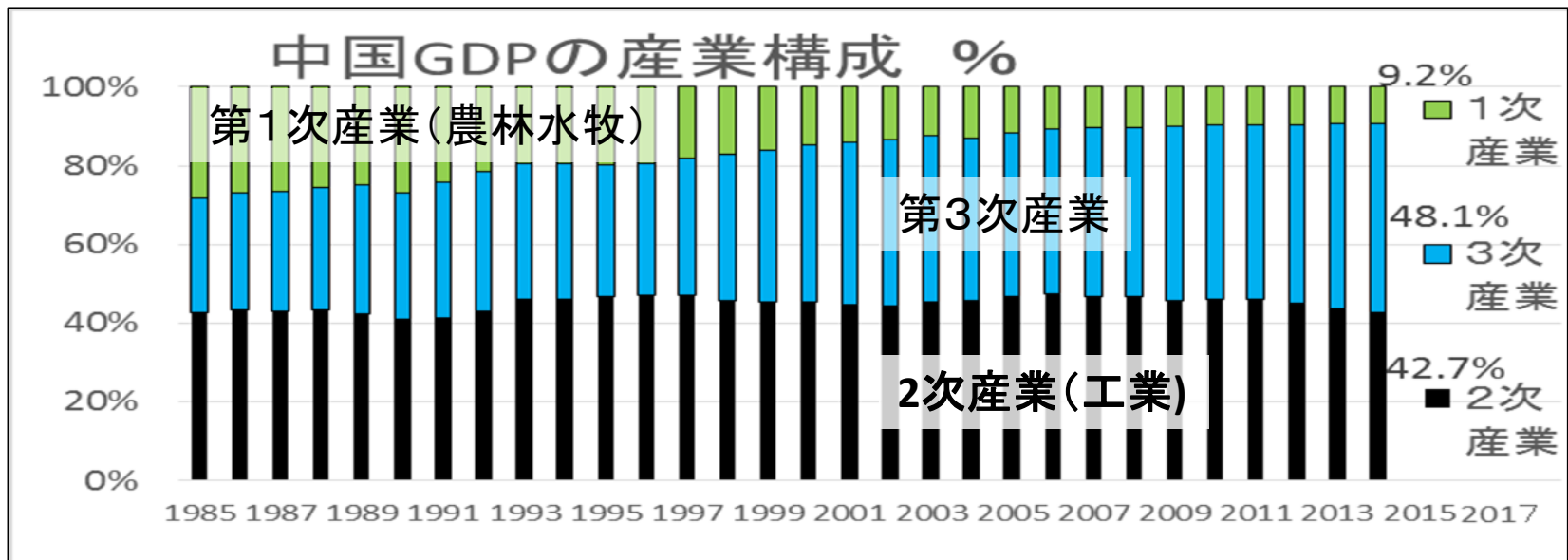
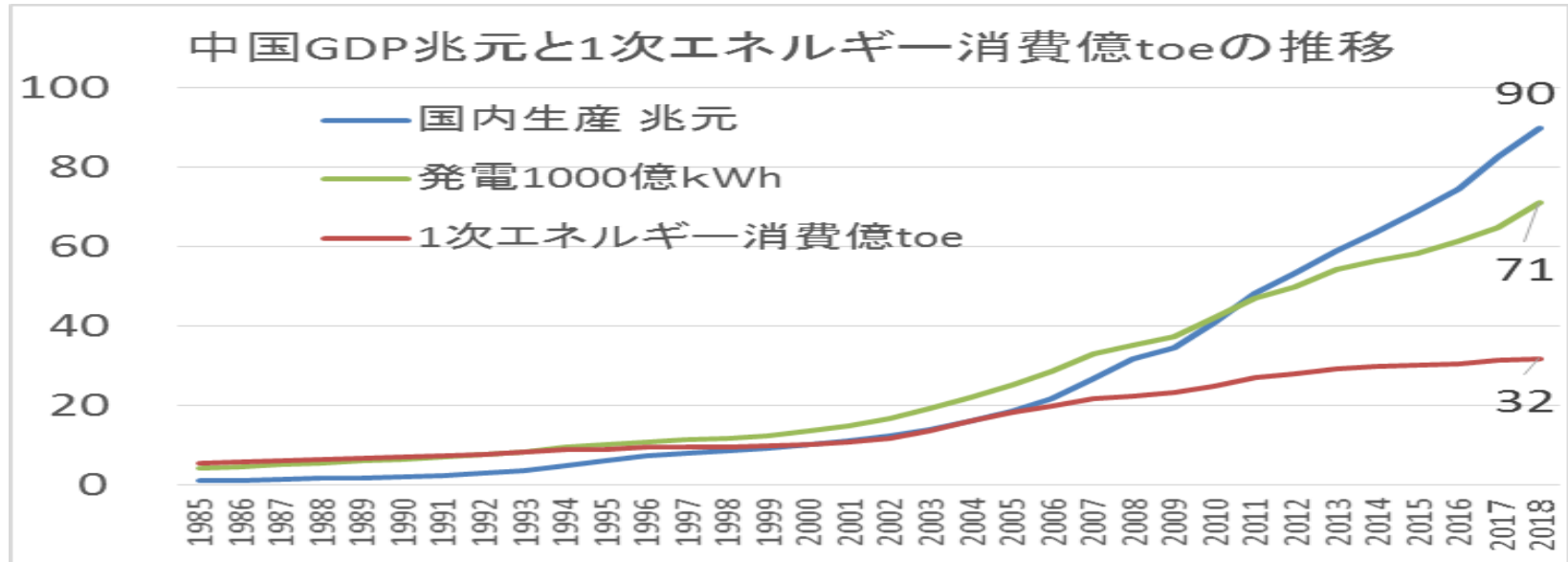
一帯一路輸出

改良型第3世代核電 華龍1 輸出 (核電協力)

⇒中米貿易摩擦⇒日中経済協力

中国の高度経済成長とエネルギー消費

(出典: GDP:統計年鑑、2018年中国統計公報、エネルギー・発電:BP統計)



成長源 一帯一路

インド

タリム盆地

チベット高原

一帯一路

インドシナ

成長源

四川盆地

一帯一路

海南島 香港

福建

台湾

中原

首都 北京

渤海湾

山東半島

上海

朝鮮

渤海湾は東京湾の5倍
中原は関東平野

おわり

ご清聴ありがとうございました。

Thank you for your attention.

謝々